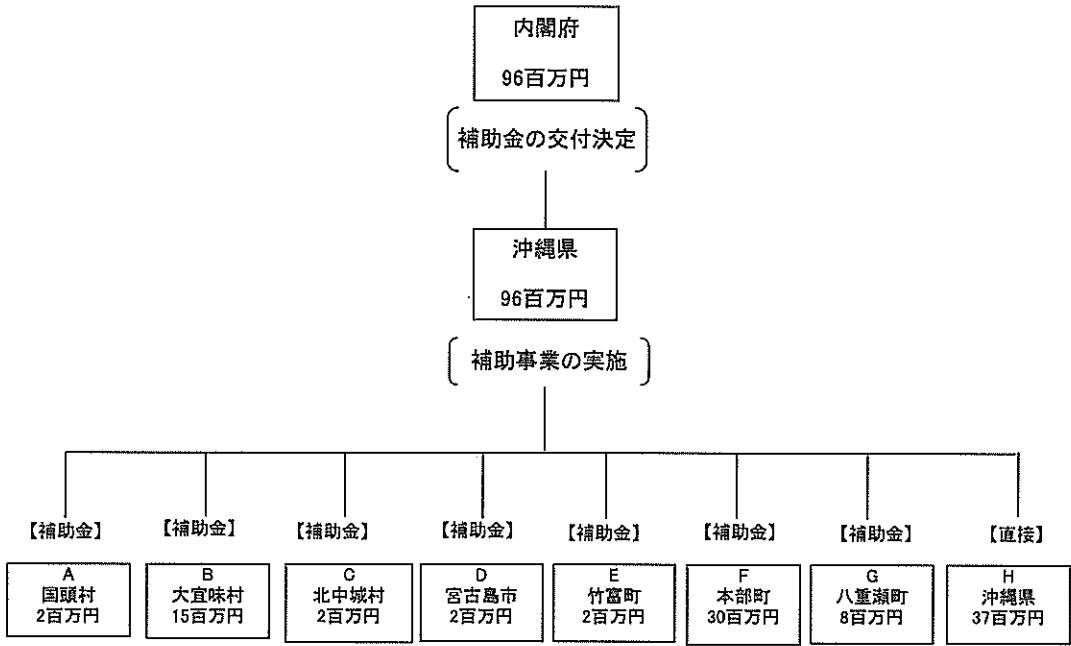


行政事業レビューシート (内閣府)						
予算事業名	持続可能な観光地づくり支援事業		事業開始年度	平成20年度 (平成21年度終了)	作成責任者	
担当部局庁	政策統括官(沖縄政策担当)		担当課室	企画担当参事官室	企画官 柴崎 哲也	
会計区分	一般会計		上位政策	沖縄政策の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	沖縄振興特別措置法		関係する計 画、通知等	沖縄振興計画(平成14年7月内閣総理大臣決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	沖縄における入域観光客数は着実に増加しているが、一方で、観光客数の増加に伴う自然環境及び文化・歴史遺産等への影響が懸念されている。このため、観光資源の保全と利用の調和を図りながら、沖縄観光を持続的に発展させていくことを目的として、市町村の取組みの支援や観光地受入容量の調査研究を行う。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	(1)市町村の公募による取組みの支援 ①環境保全に配慮した自然遺産の利用のルール作り、啓発資料作成などの取組み支援(ソフト事業) ②遊歩道、案内版、駐車場、トイレなどの環境保全型施設の整備(ハード事業) (2)観光地受入容量の調査 受入容量の定量化に向けた概況把握、データ収集、問題点の抽出などの調査研究及び有識者や事業者等による検討委員会の開催 補助率:3分の2					
実施状況	平成21年度は、国頭村、大宜味村、北中城村、宮古島市、竹富町のソフト事業、大宜味村、本部町、八重瀬町のハード事業を支援。 また、観光振興の取組みを行うにあたって関係者が利用し易い評価基準の作成に係る調査を行うとともに、実効性のある観光地受入容量の定量化手法の研究のため、有識者や事業者から成る検討委員会を年4回、5市町村でワーキンググループを各5回程度開催した。委員会での検討結果は、市町村への取組み支援の参考として活用した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)		103	102		
	執行額		99	96		
	執行率		96%	94%		
	総事業費(執行ベース)		149	146		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	担当者が本年の1月と3月に現地に赴いて沖縄県からヒアリングを行い、事業の進捗状況の確認を行った。また、補助金の額の確定時においては、支出等に関する書類により適正性を確認した。				
	見直しの 余地	21年度で終了。 今後同様な事業を実施する際には、国及び県において、効率的な執行に努める。また、事業の効果を検証する仕組みを確立する必要がある。				
予算・ 監視の 所見率	事業の成果について適切に検証できる仕組みを検討すべき。					
補記						

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてプロッ
 クごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 国頭村			E. 竹富町		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	NPO法人国頭ツーリズム協会	1	委託費	(株)水圏科学コンサルタント	1
その他	検討委員会委員謝金、旅費等	0.2	委託費	西表島エコツーリズム協会	0.2
			その他	学習体験会、モニタリング講師謝金、 旅費、印刷費等	0.3
計		2	計		2
B. 大宜味村			F. 本部町		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事請負費	(有)大保運送	10	工事請負費	(有)安護建設工業	30
工事請負費	(有)塩屋工業	1			
委託費	NPO法人大宜味つばきの会	2			
委託費	(株)愛植物設計事務所	2			
その他	講師謝金、消耗品等	0.1			
計		15	計		30
C. 北中城村			G. 八重瀬町		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	(株)国建	1	工事請負費	(有)宇地原工業	7
その他	講師謝金、印刷費	0.2	委託費	(有)琉邦技研	1
			委託費	アクアコーラル企画	1
計		2	計		8
D. 宮古島市			H. 沖縄県		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	昭和(株)沖縄支社	1	委託費	(財)日本交通公社、(財)南西地域産 業活性化センター	36
その他	委員会、シンポジウム、ワークショップ 講師旅費、印刷費等	0.4	その他	職員旅費、消耗品	1
計		2	計		37